

隊員の自衛隊病院の利用状況

① 自衛隊病院の利用状況（平成20年度）

ア) 病床利用率 平均26%（15%～41%）〔19年度 平均28%（14%～41%）〕

自衛隊病院は有事に発生する負傷者等の収容等の対応も想定しており、病床数等に余裕を持つ必要があり、病床利用率等につき一般の病院と全く同じ基準で比較することは必ずしも適当ではない。しかしながら、他の病院（約76%）と比べ、病床利用率が極めて低く、しかも年々低下（平成15年度34% → 平成19年度28% → 平成20年度26%）している。特に、保険医療機関化されている病院についても29%（19年度同）台にとどまっている。

各自衛隊病院の利用状況

区分	病院名	在院患者延数(人)				外来患者延数(人)				病床利用率 (%)
		隊員	家族	部外者	合計	隊員	家族	部外者	合計	
一般 保険 医療 機関	横須賀病院	9,124	102	5,571	14,797	40,483	2,594	11,544	54,621	40.5
	中央病院	37,486	1,392	17,816	56,694	69,431	7,440	46,443	123,314	32.7
	札幌病院	23,965	1,647	786	26,398	49,274	9,116	2,059	60,449	24.1
	福岡病院	13,087	434	2,243	15,764	34,021	5,903	7,221	47,145	21.6
	富士病院	3,795	3	43	3,841	18,163	325	664	19,152	21.0
職域 病院	阪神病院	19,758	650	125	20,533	43,572	7,947	473	51,992	28.1
	三沢病院	4,864	134	14	5,012	20,963	7,729	149	28,841	27.5
	呉病院	4,594	22	103	4,719	28,450	1,042	488	29,980	25.9
	岐阜病院	8,790	51	20	8,861	27,366	528	219	28,113	24.3
	熊本病院	7,833	46	982	8,861	29,219	3,462	578	33,259	24.3
	佐世保病院	3,966	0	0	3,966	20,523	1,049	15	21,587	21.7
	別府病院	3,612	2	109	3,723	10,018	212	255	10,485	20.4
	那覇病院	3,573	74	49	3,696	26,593	1,674	290	28,557	20.3
	仙台病院	10,159	378	507	11,044	35,039	5,853	1,147	42,039	20.2
	舞鶴病院	2,854	14	69	2,937	16,105	1,044	197	17,346	16.1
大湊病院	1,552	33	22	1,607	14,883	2,136	37	17,056	14.7	

※中央病院については、21年4月新病棟開院のため、受診制限、休診を行っている。

イ) 部外診療委託費 109億円（対前年比 Δ0.8%減）

部外医療機関への通院 12万件/月（全自衛隊病院 4万件/月）

部外医療機関への入院 1万件/月（全自衛隊病院 1.4万件/月）

自衛官が部外医療機関を利用する件数は、自衛隊病院の3倍、入院についても全自衛隊病院の50%を越えるに至っている。部外診療委託費のうち10万点（100万円）を越える高額医療は、年々増加傾向を示し、平成18年度595件、平成19年度719件、平成20年度は3/四半期までで653件となっている。これ

らの高額医療を必要とする疾患の内訳として、心臓疾患（15%）、白血病（10%）の順となっている。

また、傷病別は感染症等（ウイルス肝炎等）、新生物（癌等）、血液及び造血器の疾患（免疫障害等）及び循環器系疾患（心筋梗塞等）で、自衛隊病院ではなく部外の医療機関に受診している傾向が強い。

② 自衛隊病院の収支試算

ア) 自衛隊病院では歳入と歳出の乖離が非常に大きく、また歳出の約4分の3が人件費となっている。

イ) 歳出対歳入306%(305%) (A) 人件費対歳入223%(206%) (B)

※新型インフルエンザ対策経費（態勢整備分）を除いても

歳出対歳入298%(305%) (A)' 人件費対歳入223%(206%) (B)'

(注) 上の収支指標 (A), (B) 等は、自衛隊の任務等を踏まえると病院の類似の指標と直接の比較はできない。

ウ) 病院ごとに、歳出対歳入比率に大きなばらつき。

⇒ 自衛隊病院は有事対応を想定したものであるため、平時における収支指標は民間病院と比較した場合極めて悪い。

自衛隊病院の歳出・歳入（全国16病院の合計）

（単位：億円）

歳入計	現金収入（うち部外者）	自衛官診療分（※）	
104	25（17）	79	
歳出計（その他含む）	人件費	医療関係費	営舎費
320	233	64	12

※自衛隊病院における自衛官等の診療には、実際には金銭等の授受が伴わないが、試算にあたり、診療実績等に基づき診療点数に置き換えて、歳入額を便宜的に算出した。

病院別の歳出対歳入

歳出対歳入(%)	150-200	200-300	300-400	400-500	500-600	600-700
病院数(19年度)	2	5	6	2	0	1
病院数(20年度)	0	8	5	2	0	1